

安威川ダム周辺整備事業について（大阪府）

■安威川ダム建設事業の概要

昭和42年の北摂豪雨災害を契機に計画立案
 100年に一度の大雨に対応

- 所在：茨木市大字生保、大門寺地先
- 形式：中央コア型ロックフィルダム（岩石と土を盛り立てるタイプ）
- 高さ：**7.6.5m**（20階建てのビルを超える高さ）
- ダム頂上部の長さ：**337.5m**

大雨による浸水被害を軽減し、
 府民の生命・財産を守る。

【100年に1度の降雨に対する想定】

- 浸水想定面積
⇒26.0km²
- 浸水家屋
⇒約9万戸
- 浸水による被害想定額
⇒約2兆円

上記効果に加え、**安威川の下流の、豊中
 や大阪市内を流れる神崎川でも、浸水に
 対する効果を発揮**



■安威川ダム建設工事の進捗状況

昨年12月に、計画の高さまでダム堤体の盛り立てが完了。本年5月には、洪水吐きなどの設備を
 含めたダム本体並びに、試験湛水に必要な貯水池周辺の整備を完成させる予定。



■取組み内容とスケジュール

年度	ダム事業	市による周辺整備	審議会等の流れ
令和元年度	ダム本体及び試験湛水に必要な貯水池周辺の整備	公募要項作成	将来の河川区域内で想定される利活用形態に関する 事前協議（大阪府 ⇄ 茨木市） ●都市・地域再生等利用区域指定に係る要望 （茨木市長→大阪府知事：R1.9.13） ①賑わい審議会（公募前：R1.9.26） 【諮問】都市・地域再生等利用区域の新たな 指定について（安威川ダム） （審議内容） ・利活用想定区域と事業イメージ ・利活用想定と冠水頻度 ・事業スキームについて ・事業者公募における留意点
		公募期間 事業者公募開始（R1.12） 事業者候補者の選定	
令和2年度		基本計画検討 事業者決定（R2.8） 契約に向けた協議	【答申】安威川ダムの都市・地域再生等利用 区域の指定は妥当 ※但し、条件付き 条件(1)：事業内容が確定した時には、 事業 計画及びその範囲 を報告すること 条件(2)： 地域の合意 が図られていることを 確認するため組織体制も含め報告 すること
令和3年度		実施設計 基本計画策定（R3.9） 事業者契約（R3.9末） 現場着手（R4.2）	
令和4年度	試験湛水	周辺施設の整備	②賑わい審議会（今回：R4.1.26） 【報告】条件(1)、条件(2)について （説明内容） ・民間事業者提案内容、スケジュール ・地元住民との合意形成、事業スキーム ・安威川ダム周辺整備基本計画
令和5年度			ダム完成 事業内容が確定した一部を報告 大阪府において、 ・治水面等に支障が無いことや、事業者が実施する 利用者の安全確保対策、占用範囲の維持管理、 環境保全対策の内容等について確認 ●河川区域指定／都市・地域再生等利用区域指定 ↓ ●茨木市が河川区域を占有 開業エリアの部分完成（R5末） 公園オープン